

# 台風シーズン到来!

備えあれば憂いなし

地震は突然襲ってきますが、水害は迫りくる危機を事前に予測することができる災害です。つまり、洪水などの水害が発生するまでに準備や安全な場所へ避難する時間があるということです。この時間を有効に使うために、自分自身の状況を把握し、今何ができるのか、考えておきましょう。

## 平常時の備え

### 洪水ハザードマップを確認

浸水情報と避難に関する情報などを分かりやすく提供し、洪水時の人的被害を防ぐことを目的に作成しています。自宅周辺の危険な場所を事前に確認しましょう。

## 非常用備蓄・持出品の準備

ライフラインが止まった場合、救助や復旧までに時間を要する可能性がある中で、最低限の非常用備蓄品を用意しておきましょう。用意しておく持出品をホームページで紹介しています。また、避難には感染症対策予防用品として、次のものも忘れずに用意しましょう。

- マスク
- 消毒液
- 体温計
- ゴム手袋
- ゴーグル など



【市ホームページ】  
日ごろから備えておくもの

## 避難先を確認

新型コロナウイルス感染症の影響で、避難所への避難に不安を感じている方も多いことでしょう。避難は必ず避難所へ行かなければならないものではありません。台風が近づいてきたとき、予測される進路から被害想定区域外に住む親戚や知人宅へ避難される方法を検討してください。避難先を検討する際は、電気・ガス・戸締りの確認、流れやすいものを屋内に移動するといったことにも注意しましょう。

また、市では地域や住所ごとに避難所を割り振っていません。そのため自宅や勤務先など、普段滞在している場所の浸水深と近くの避難所を確認しておきましょう。必要に応じて、自宅などの2階以上の安全が確保できる場所に避難する「垂直避難」も検討しましょう。



## 避難時の注意点

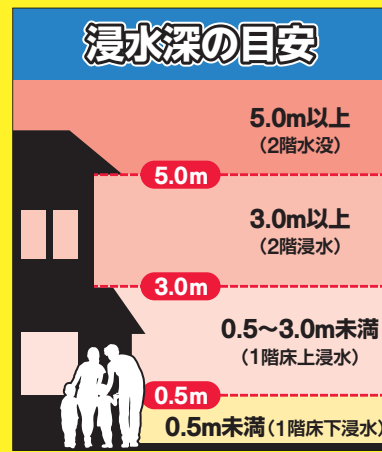
### 警戒レベル4になったら すぐ避難

頻発する自然災害に対応して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保のため、災害対策基本法が改正され、「避難勧告」が廃止されて「避難指示」に一本化されました。

市から、警戒レベル4「避難指示」が出されたときは、危険とされた場所から、住民全員が避難するようにしてください。警戒レベル5は、「緊急安全確保」に変更され、もはや避難所への移動が危険と判断した段階で発令します。自宅の中や近所ですら浸水の危険が少ない安全な所に身を寄せるようにしてください。

## 垂直避難

3メートル未満の浸水の場合、自宅など建物の2階以上の安全が確保できる場所に避難する「垂直避難」が有効です。あらかじめ、自宅や勤務先の浸水深をハザードマップで確認しておきましょう。



## 早め早めの行動を

浸水が進むと歩行が困難となります。水位が低くても水の勢いで動けなくなる危険性があるので、早めに避難の判断を行いましょう。

## 通らない、近づかない

市内には、路面の高さが地面より低い道(アンダーパス)があります。豪雨などの影響により冠水する危険性があるため、通らないようにしましょう。また、

## 「マイ・タイムライン」を作ろう

マイ・タイムラインとは、台風の接近などによって河川の水位が上昇するとき、自分自身がとる標準的な行動を時系列的に整理し、まとめておく防災行動計画です。家族構成や生活環境に合った避難に必要な情報・判断行動を把握して、いざというときのために、自分の逃げ方を確認し、家族と共有しておきましょう。



【国土交通省ホームページ】  
マイ・タイムライン

マイ・タイムラインの例

## ペット同行の避難

河川や用水路、田んぼなどは水が溢れる可能性もあるので、近づかないように気を付けましょう。

避難所が開設された場合、飼っているペットを連れて避難できます。ただし、苦手な人やアレルギーを持った人もいるため、介助犬を除き、避難者が生活するスペースとペットの受け入れスペースを分けて用意します。なお、ペット同行の場合は、飼い主がケージを持参し、餌やふんの管理をお願いします。



## 避難所の感染症対策の徹底

避難所内、特に居住スペースは十分な換気をします。避難者および避難所担当職員などは、小まめな手洗いを行うとともに、咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底します。



## 災害発生時の心がけ

### 正確な情報収集

自然災害は、自らの判断で避難行動をとることが原則です。早め早めの避難を行うために、テレビ、ラジオ、インターネットを活用し、台風・雨雲の進路や被害情報を収集しましょう。

災害時は人々の不安に乗じてデマが拡散されます。不確かな情報に惑わされることのないように、正しい情報の入手先を日ごろから確認してください。



### 市からの情報発信

市では、浮き城のまち安全・安心情報メール、市公式SNS(LINE、Twitter)、データ放送(NHK、テレビ埼玉)、防災行政無線音声確認サービスなどからリアルタイムに情報を発信していきますのでぜひ活用ください。



【市ホームページ】  
災害時の情報伝達手段について

| 大雨警戒レベル |               |
|---------|---------------|
| 警戒レベル   | 行動を促す情報       |
| 5       | 災害発生情報        |
| 4       | 避難指示(緊急) 避難勧告 |
| 3       | 避難準備 高齢者等避難開始 |
| 2       | 大雨・洪水・高潮注意報   |
| 1       | 早期注意情報        |